

令和元年 11 月 5 日

保護者 様

県立北摂三田高等学校
校長 廣瀬 雅樹

大学入試英語成績提供システムの導入見送り及び「共通 ID 発行申込」の中止について

仲秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の教育にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、新聞報道等でご存じのとおり、11月1日の文部科学大臣の会見において、大学入学共通テストに導入される英語民間試験の来年度からの活用を延期し、5年後の令和6年度の実施に向けて、改めて検討するとの発表がありました。

これを受けて大学入試センターは、11月1日より予定していた「共通 ID 発行申込」の中止を決定しましたので、本校第2学年生徒からの申請書類の提出も取り止めました。取りまとめた申請書等については、今後の対応が正式に示されるまで、本校で確実に保管いたします。

また、実用英語技能検定（英検）については、予約金の返金の対応等について、現在、兵庫県教育委員会事務局が、日本英語検定協会に確認しているところです。

今後の対応につきましては、文部科学省及び県教育委員会からの通知等を受け、別途ご連絡させていただきます。

皆様には、ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、よろしくお願い申し上げます。

【参考】

文部科学省ホームページ 「大臣メッセージ（英語民間試験について）」〈裏面印刷〉

http://www.mext.go.jp/a_menu/other/1422381.htm

【照会先】

県立北摂三田高等学校
教頭 藤井 俊
電話 079-563-6711
FAX 078-563-6712

受験生をはじめとした高校生、保護者の皆様へ

文部科学大臣の萩生田光一です。皆様に、令和2年度の大学入試における英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入を見送ることをお伝えします。

大学入試における英語民間試験に向けて、今日まで熱心に勉強に取り組んでいる高校生も多いと思います。今回の決定でそうした皆様との約束を果たせなくなってしまったことを、大変申し訳なく思います。

英語民間試験を予定通り実施するかどうかに関しては、高校生をはじめ多くの皆様から、賛成・反対、様々な意見をいただきました。

私としては、目標の大学に向けて英語試験の勉強を重ねている高校生の姿を思い浮かべながら、当初の予定通りのスケジュールで試験を実施するために、連日取り組んできました。

しかし、大変残念ですが、英語教育充実のために導入を予定してきた英語民間試験を、経済的な状況や居住している地域にかかわらず、等しく安心して受けられるようにするためには、更なる時間が必要だと判断するに至りました。

大学入試における新たな英語試験については、新学習指導要領が適用される令和6年度に実施する試験から導入することとし、今後一年を目途に検討し、結論を出すこととします。

皆様が安心して、受験に臨むことができる仕組みを構築していくことをお約束します。

今回、文部科学省としてシステムの導入見送りを決めましたが、高校生にとって、読む・聞く・話す・書くといった英語4技能をバランスよく身に付け、伸ばすことが大切なことには変わりありません。

グローバル化が進展する中で、英語によるコミュニケーション能力を身に付けることは大変重要なことです。皆様には、これからも日々の授業を大切にするとともに、それぞれの目標に向かって努力を積み重ねて頂きたいと思います。

令和元年11月1日

文部科学大臣 萩生田光一